



Optics & Photonics Japan 2006

## 生体医用光学研究グループ企画シンポジウム 光学技術の先端医療への展開

近年、さまざまな光学技術が医学の分野へ応用され、診断・治療機器として利用されています。これからの先端医療においては、QOL(Quality of Life)の向上が重要な課題であり、そのためには早期診断、選択的治療、テーラメード医療などを可能とする技術開発が必要となってきています。一方、がんは医療技術の進歩によって治療可能な疾病とはなったものの、いまだに日本人の死亡原因の一位であり、罹患数も増加を続けています。

このセッションでは、光によるがんの診断や選択的治療法として期待されている Photodynamic medicine、壮年層女性のがん死亡原因一位である乳がんの超早期診断を目的とした光イメージング技術、そしてテーラメード医療などの基盤となる遺伝子導入技術をテーマとして採りあげ、先端医療に展開されている光学技術の現状と将来の展望について提言を頂きたいと思ます。

**会場** 学術総合センター（一橋記念講堂） 〒101-8430 東京都千代田区一ツ橋 2-1-2

営団地下鉄半蔵門線 / 都営地下鉄三田線・新宿線「神保町」A8,9 出口

営団地下鉄東西線「竹橋」1b 出口 徒歩 3~5 分

**参加登録** OPJ2006 への参加登録が必要です。下記ホームページからお申し込みください。

**日時** 2006 年 11 月 9 日(木) 13:00 ~ 15:00

### プログラム

13:00-13:30 光線力学的診断・治療のメカニズムと関連技術

川内 聡子（防衛医科大学校 医用工学講座）

佐藤 俊一（防衛医科大学校 防衛医学研究センター）

菊地 眞（防衛医科大学校 医用工学講座）

13:30-14:00 悪性脳腫瘍治療における photodynamic medicine の応用

金子 貞男（柏葉脳神経外科病院）

14:00-14:30 光を用いた乳がんイメージング技術の開発

山下 豊 , 小田 元樹 , 山中 武志 , 上田 之雄 ,

山下 大輔（浜松ホトニクス 中央研究所）

14:30-15:00 レーザー誘起応力波を用いた標的化遺伝子導入技術の開発

佐藤 俊一（防衛医科大学校 防衛医学研究センター）

寺川 光洋（慶應義塾大学 理工学部）

小原 實（慶應義塾大学 理工学部）

**OPJ2006 ホームページ** <http://www.opt-j.com/opj2006/>

**連絡先(企画担当)** 岡田 英史（慶應大） [okada@elec.keio.ac.jp](mailto:okada@elec.keio.ac.jp)